



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

# 今成小だより



令和7年7月1日発行

## 安心して過ごせる学校であるために

教室から見える田んぼの緑が鮮やかさを増しています。栄養分を吸収し稲もぐんぐんと背丈を伸ばす様子で、このまま順調に育ってほしいと願うばかりです。

さて、今年度は、子どもが巻き込まれる事件や事故が頻発しています。過日、川越市のPTA連合会で近くの席の方から学校の不審者は本当に心配なこと、しかし、訓練は実施が難しそうであることなどをお聞きしました。そこで、今成小で毎年度行っている安全対策について概要をお伝えしました。

本校では、埼玉県教育委員会の「学校防犯マニュアル」に基づき訓練を計画し、目標を明確にして実施しています。教職員は役割分担に応じて迅速に動き、子どもたちは可能な対処法を知り実践します。不審者対応訓練は一度行くと新たな課題が見つかるので、安全教育部を中心に毎年度、改善を加えて実施しています。

しかし、学校安全上の課題は1つではありません。毎月の安全点検、火災時避難訓練や新方式の引渡し訓練、水泳指導前に救急法研修やけいれん対応研修を実施し、過日はこばやしこどもクリニックの先生方をお招きし、初めてのアレルギー研修を行いました。今後も嘔吐物処理研修や被害状況に応じた地震対応訓練など新たに実施する予定となっています。

このような訓練や研修を重ね、学校が子どもたちにとって安心できる場であるための感度を全教職員で一層高めていく所存です。また、防犯カメラの設置など施設に対する改善要望は続けますが、今成小の教職員や児童、保護者で今できる安全対策については着実に進めたいと考えています。現在、教室ドアの内鍵を検討している所ですが、よいアイデアなどがありましたら、是非お聞かせください。

結びに、子どもたちの登下校の際、安全確保・安全配慮にご協力いただいている地域ボランティア、保護者の皆様に改めて感謝申し上げます。

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす

緊急放送の後、教室では自分たちでも直ちにできることとして机と机とをバリケードを作ります。



教職員は時間を稼ぎつつ徐々に人数を増やして不審者に対応し、警察の到着を待ちます。



エピペンを打つ際の留意点を学びました。